

(第2号様式)

糸 満 第2317号
平成29年3月17日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立糸満高等学校
校長 辻上 弘子

平成28年度県立糸満高等学校学校評議員について(報告)

平成29年1月6日付け教県第1922号により依頼のありました、みだしのことについて下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

回数	日時	場所	出席状況
第1回	平成28年7月21日 (木)16:00～17:00	多目的教室 I A	評議員5名全員出席
第2回	平成28年12月21日 (水) 16:00 ～ 17:00	多目的教室 I A	評議員4名出席(1名委任)
第3回	平成29年3月16日 (木) 16:00 ～ 17:00	多目的教室 I A	評議員5名全員出席

2 学校評議員に求めた事項

- 下記の項目について報告し意見を求めた。
①学校の経営方針について ②学校の行事等の近況について ③進路状況について
④生活指導状況について ⑤各学年の取組について ⑥生徒の活躍について
⑦県外先進校訪問研修について ⑧学校評価について

3 学校評議員の意見

- ①部活動の活躍が素晴らしい。生活面での指導がよく行き届いている。
②生徒の挨拶が大変良い。卒業式も大変感動した。進路実績も向上している。家庭学習が弱いので自ら学ぶ意欲を育てて欲しい。
③入学当初の高い進路希望が学年進行に従って、あきらめている状況がみられる。課外講座や自学自習をもっと積極的に推進してほしい。3年生の8時間学習会の取組は大変良い。
④マスコミ等の報道からも生徒の活躍が良い方向に向かっている印象を受ける。
⑤引き続き読書を推進し、本や新聞を読む習慣を付けさせて欲しい

4 学校運営に反映した事項

- ①部活動の冬時間を導入したことにより下校時間の意識高揚がはかれた。
②3年生0学期宣言、F&Aセミナーなど、学習意欲および進路意識の高揚を図る取組を実践した。
③確かな学力の育成する授業づくりを実践するため、授業見学や職員研修の充実を図った。
④学習を支える力の育成のため、あいさつの徹底、基本的生活習慣の確立や学習規律の徹底、学習環境の整備を実施した。

5 課題その他

- ①家庭学習の習慣化への取り組みと自主学習、スキマ時間の活用など主体的な意識改革。
②「文武両道」の質を高める取組。
③わかる授業による基礎学力の定着。
④シラバスの有効活用と指導と評価の一体化。
⑤保護者、地域との連携強化および学校情報メールの加入率向上と情報公開に努める。